

授業と評価の年間計画

教 科	外国語	科 目	英語表現Ⅱ	
履修条件 対象生徒	必修 普通科・理数科 2年			
学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。			
学習方法	<p>【授業】 予習は必須。予習の段階で辞書や文法書を十分に活用しておき、授業に積極的に参加する。失敗を恐れず英語を口にし、ペアやグループで活動する中で、実際の英語の使用場面をイメージしながら英作をしたり、会話をしたりすることが大切である。また、多くの基本例文を暗唱することは、表現力向上に有効である。</p> <p>【家庭】 辞書や文法書を利用し、教科書の設問を解答しておく。1時間の授業を受ける準備を入念にできるならば、授業の受け方も変わってくる。和文英訳の問題は様々な書き方があるので、柔軟に考えて、表現を楽しもう。GOAL！の箇所は自分の考えを言えるように準備しておこう。</p> <p>【補習・その他】 副教材を活用し、学習内容の理解を深める一助とする。</p>			
学習計画 と ねらい	<p>1 1学期 (1)中間検査まで part 1 Lesson1～2 Grammar Focus, Activity ① (2)期末検査まで part 1 Lesson3～7 Grammar Focus, Activity ②</p> <p>2 2学期 (1)中間検査まで part 1 Lesson8～12 Grammar Focus, Activity ③ (2)期末検査まで part 1 Lesson13～17 Grammar Focus, Activity ④</p> <p>3 3学期 (1)学年末検査まで part 1 Lesson18～20 Grammar Focus, Activity ⑤</p>		<ul style="list-style-type: none"> 形式主語・無生物主語、可算名詞・不計算名詞について理解する。 自動詞・他動詞、使役動詞・知覚動詞、直接話法・間接話法について理解する。 時制、能動態・受動態、仮定法、助動詞の使い分けについて理解する。 構成や表現に気をつけながら、コミュニケーション活動を行う。 名詞、関係代名詞、副詞句、副詞節について理解する。 情報構造に気をつけて短い文章を書く。 比較表現、最上級、さまざまな否定表現について理解する。 	
評価規準	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。また、それらを次の言語活動に生かしている。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価方法	①定期検査 ②授業態度 ③課題・提出物 ④小テストなどを総合的に判断して評価する。			
その他	様々な場面における英語発信能力を育成する。			